

行橋市立延永小学校学校通信  
(2018年・平成30年度)

延小だより No.11

October 10月2日 発行

【学校目標】  
豊かな心を育み、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成

《校訓》 勤 勉

◇ めざす子ども ◇

- ☆ 思いやりの心を持ち、素直で明るい子ども
- ☆ 自ら意欲的に学び、すすんで汗をかく子ども
- ☆ 地域に愛される元気な子ども

## あいさつでほめられました！！

最近、地域の方から「延永小学校の子どものあいさつが立派になってきた」とほめられました。集会のとき、「あいさつ」「<sup>へんじ</sup>返事」「<sup>かんしゃ</sup>感謝」「<sup>しやざい</sup>謝罪」の言葉の大切さを話してきましたが、実際にほめられるとうれしいものですね。これからも、地域や家庭、いろいろなところでほめられる延永小学校をみんなで作っていきましょう。



## 学習参観・教育講演会、ご参加ありがとうございました。

9月28日(金)に行われました学習参観・教育講演会(PTA及び延永校区青少年育成協議会と延永校区女性学級との共催)では、たくさんの保護者の皆様・地域の皆様のご参加ありがとうございました。

本年度の教育講演会は、「東日本大震災～あの日を知り、これまでを想い、これからを考える～」と題して、花巻市教育委員会指導主事 齋藤 真先生にご講演いただきました。  
\*先生は平成23年3月11日、釜石東中学校勤務時に、東日本大震災で被災。当時生徒指導部長を務め、子どもたちとともに避難し、津波から逃れ、その避難行動が「釜石の奇跡」と呼ばれ、語り継がれています。

齋藤先生のご講演を拝聴し、緊急時のとっさの判断や行動が、本当に人の生死を左右すること教えられました。とにかく齋藤先生から発せられるひと言ひと言が重く、テレビや新聞報道とはまるで違い、震災直後の現場の緊張感が、(切実感を伴い、)ひしひしと伝わってきました。

○極限の状況下で、一袋のポテトチップスを分け合う話、震災後の初めての授業の話では、絆の大切さ・思いやりの大切さ・支え合うことの大切さを強く感じました。

○かまいし第九コンサートでの話では、実際の中学生の心から絞り出す合唱の声に、生きることの大切さ・立ち上がる勇気の尊さを感じるとともに、合唱の素晴らしさにこみ上げるものがありました。



○震災後の齋藤先生と子どもたちのやりとり (家族をなくした生徒が胸中を吐露する) は、子を持つ親のひとりとして何度もグッときましたし、命の重さ・生きていることの意味を考えさせられました。  
かけがえのない時間を参加者全員で共有できた有意義な講演会でした。

**【学習参観・学年集会】 風景** 参観等ありがとうございました



**【3年習字ボランティア】** 講師の先生方ご指導ありがとうございました



**【4年社会見学】** 児童文化科学館と清掃工場見学に行ってきました



## ◇ 10月・11月の主な行事 ◇

2日(火) なかよし探検集会  
9日(月) 2学期始業式  
25日(木)～26日(金) 5年生宿泊体験学習(英彦山青年の家)  
11月1日(木)～2日(金) 6年修学旅行(長崎方面)  
9日(金) 2年社会見学  
28日(水) 学習参観(2年親子レク)・学級懇談会  
5日(金) 1学期終業式  
18日(木) 1年社会見学  
11日(日) 延小なかよし祭り

## ま ち の 話 題

### 「九州を元気に！」リング外も全カファイト



九州プロレスの人気レスラー、めんたい☆キッド選手が9月19日、市内の老人ホームなどを訪問しました。同団体はプロレスを通じて地域おこしを図るNPO法人で、九州各地で福祉活動や青少年の健全育成活動を展開中。9月末にみやこ町で大会を開催することから、今回の訪問が実現したものです。このうち、延永小学校の児童クラブではキッド選手がスクワットや腕立て伏せで体を動かしながら、子ども達と交流。教室は大きな歓声に包まれました。

【 市報 ゆくはし 10月号 より 】